

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年10月30日



証券コード：4461（東証プライム）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2024年3月期 第2四半期 連結決算** **P.3**
- 2. 2024年3月期 業績見通し** **P.16**

1. 2024年3月期 第2四半期 連結決算

連結 業績の概要（前期比較）



減収減益：販売の落ち込みに加え、原材料価格の高騰が利益を圧迫

(単位：百万円)

	23/3月期 上期(4-9月)	24/3月期 上期(4-9月)	前年同期比増減	
			金額	増減率
売上高	32,765	29,200	△ 3,565	△ 10.9%
営業利益	717	△ 449	△ 1,166	-
経常利益	872	△ 379	△ 1,251	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 396	△ 478	△ 81	-

減収  売上高：海外向け難燃剤が大きく落ち込む

減益  営業利益：原材料価格の高騰による収益性低下

連結 業績の概要（24/3月期1Q・2Q比較）



増収増益：価格転嫁の進捗及び経費削減により収益性改善

（単位：百万円）

	24/3月期 1Q(4-6月)	24/3月期 2Q(7-9月)	増減	
			金額	増減率
売上高	13,884	15,316	1,432	10.3%
営業利益	△ 572	123	695	—
経常利益	△ 557	178	736	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 477	0	476	—

増収  **売上高**：界面活性剤を中心とした値上げの進捗

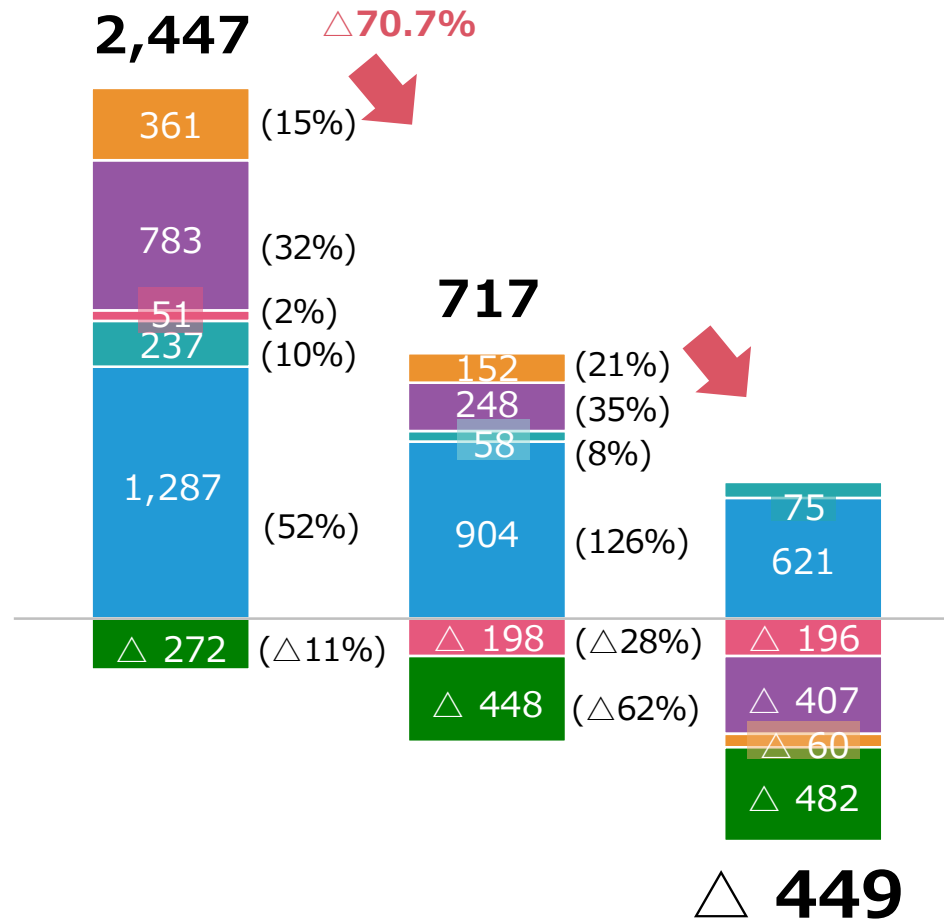
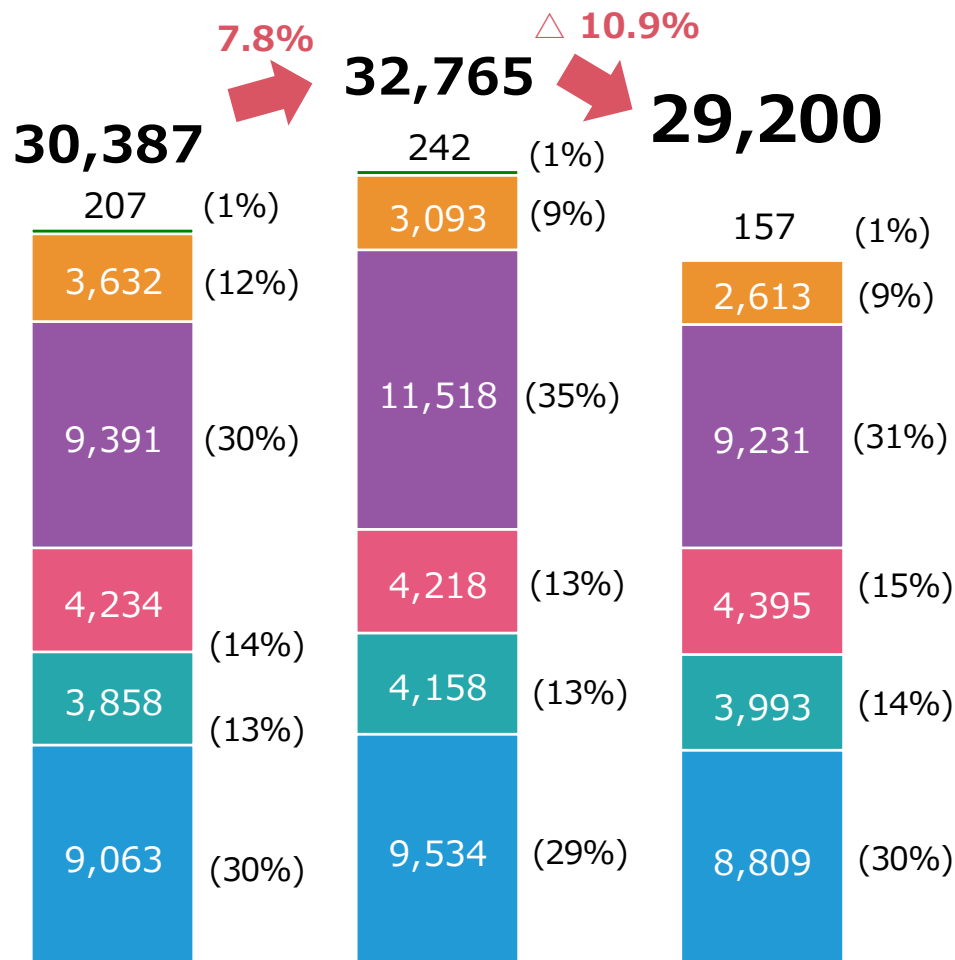
増益  **営業利益**：価格転嫁及びコスト削減

売上高

営業利益

() : 構成比

(百万円)

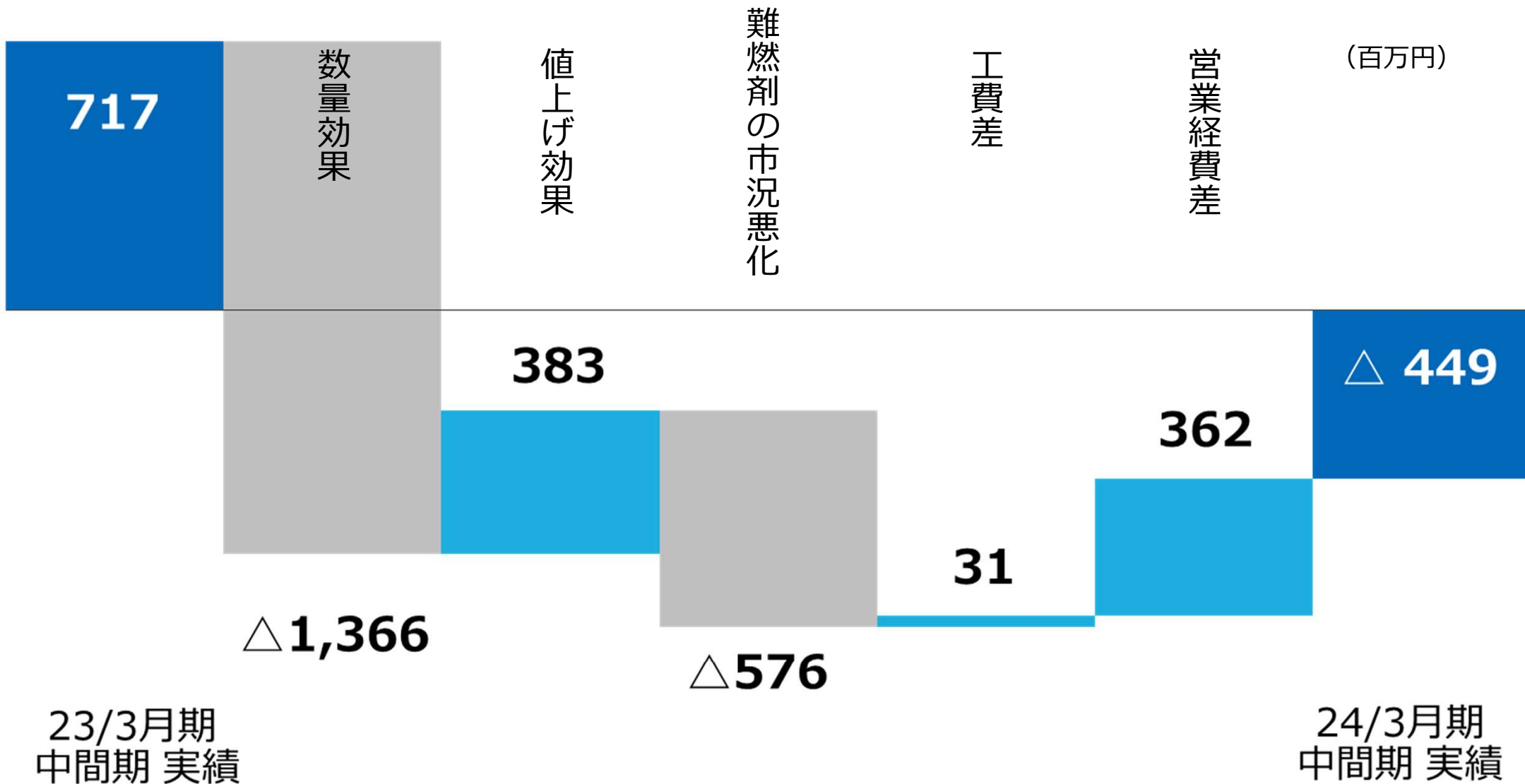


■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

2024年3月期 第2四半期 営業利益増減分析



- * 販売数量減少
- * 原材料価格の高騰による値上げ活動
- * 難燃剤の市況悪化による影響額
- * 工場稼働率の改善による経費圧縮
- * 販売活動及び研究開発費などの経費削減

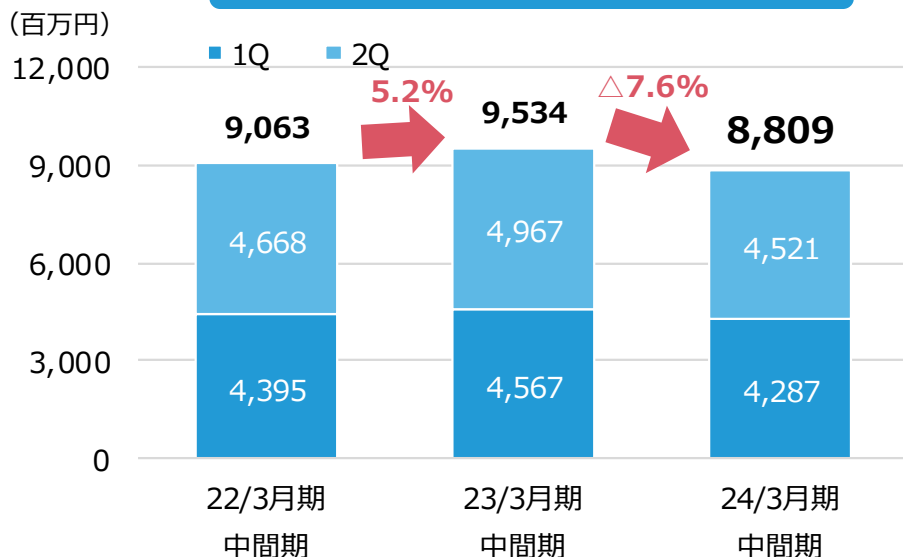




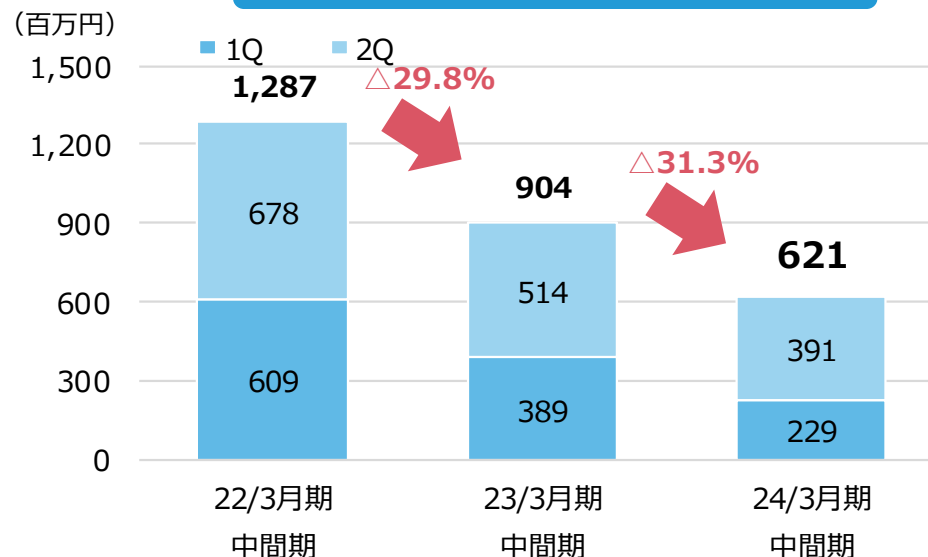
連結 セグメント業績 界面活性剤

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

売上高



営業利益



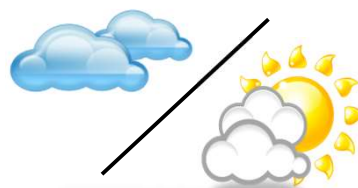
売上高：総じて低調に推移

- 塗料・色材用途：堅調に推移
- IT・電子材料、ゴム・プラスチック：低調に推移
- 石けん・洗剤用途：大きく落ち込む

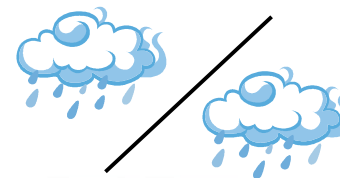
営業利益：減益

- 売上高の落ち込み
- 原材料価格の高騰による影響

IT・電子材料用途



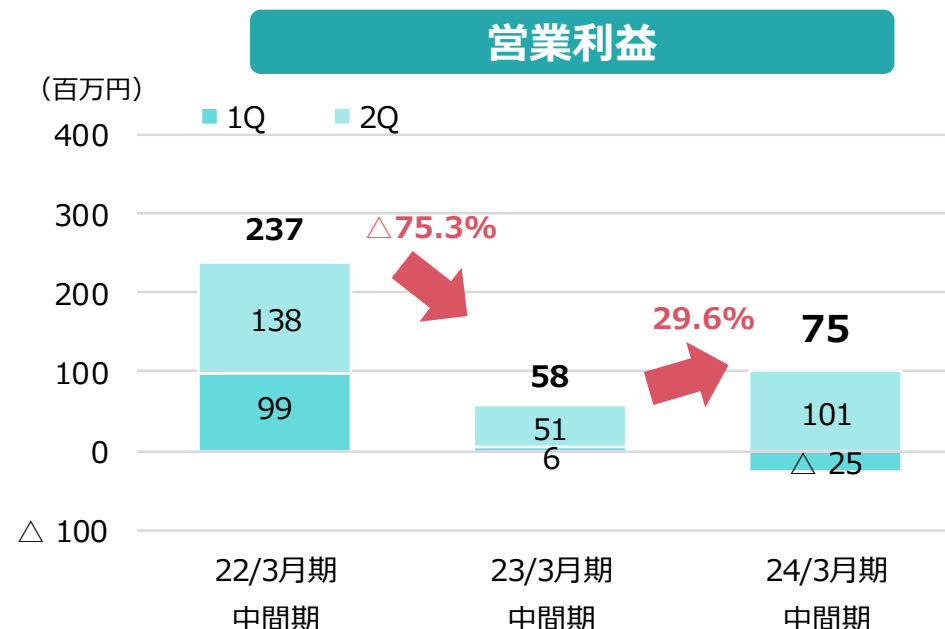
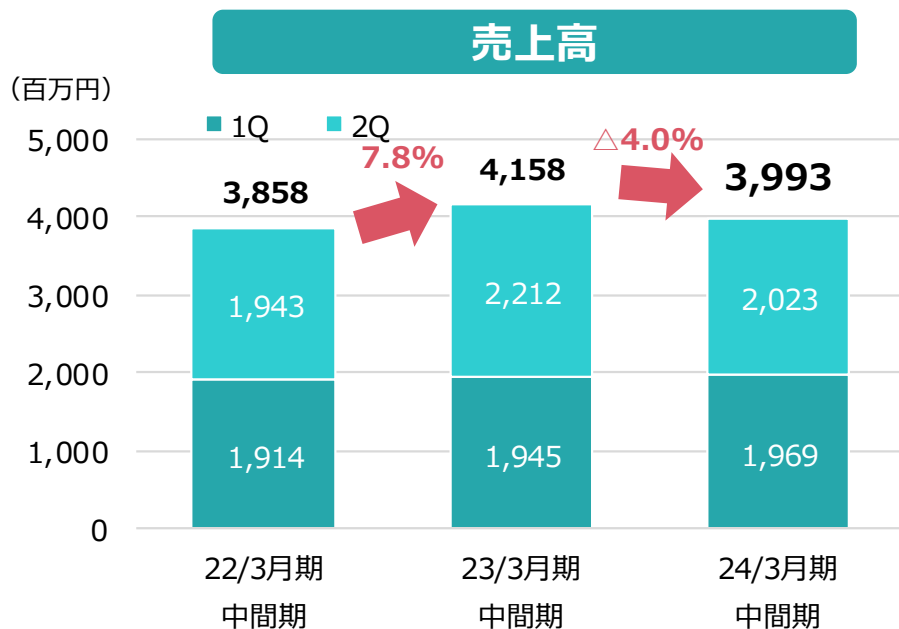
石けん・洗剤用途



塗料・色材



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



売上高：総じて低調に推移

- 食品用途: ショ糖脂肪酸エステルは低調
- 香粧品用途: ショ糖脂肪酸エステルは海外堅調
- I化粧品・環境用途: セルロース系高分子材料は低調に推移

営業利益：増益

- 売上高の落ち込みを営業経費削減などでカバー

香粧品用途



食品用途



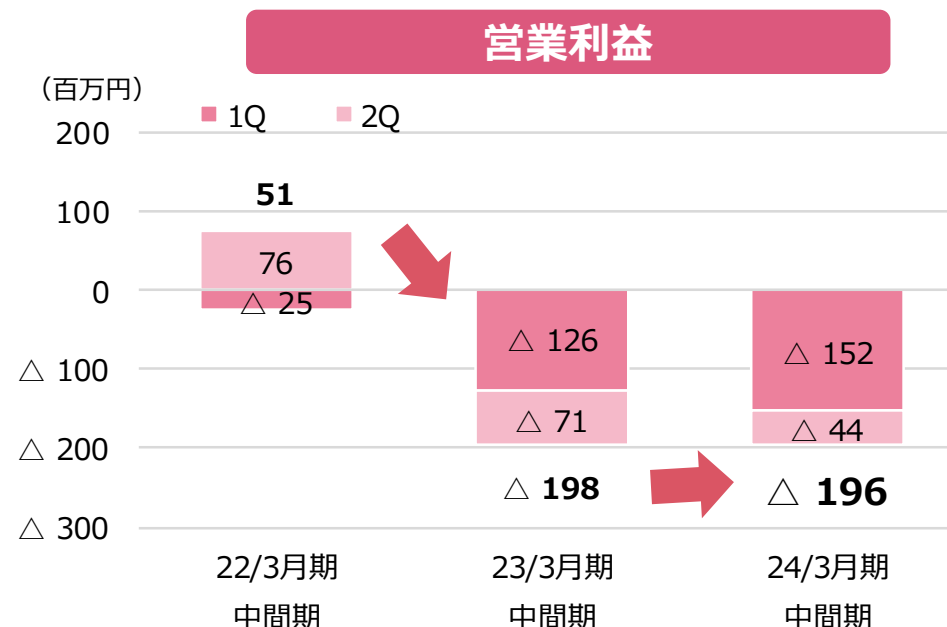
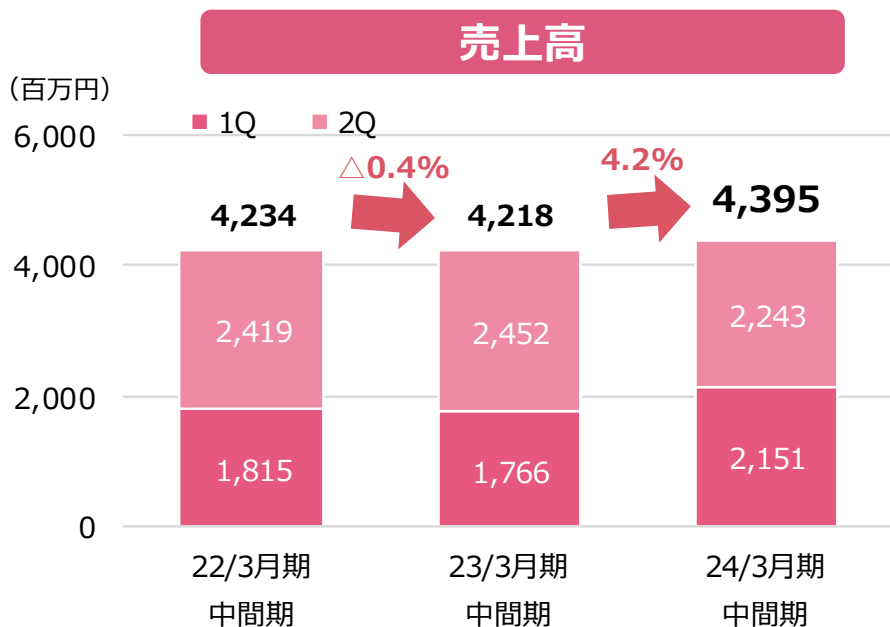
エネルギー用途



連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



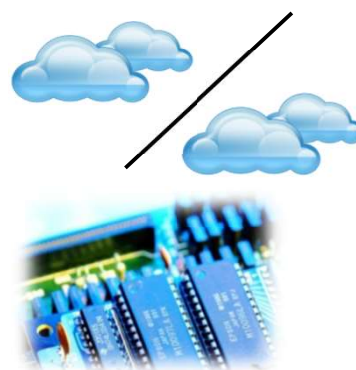
売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途：低調に推移
- 土木薬剤用途：大幅に伸長
- 合成潤滑油：低調に推移

営業利益：営業損失

- 原材料価格の高騰による影響

IT・電子材料用途



土木用薬剤:岩盤固結



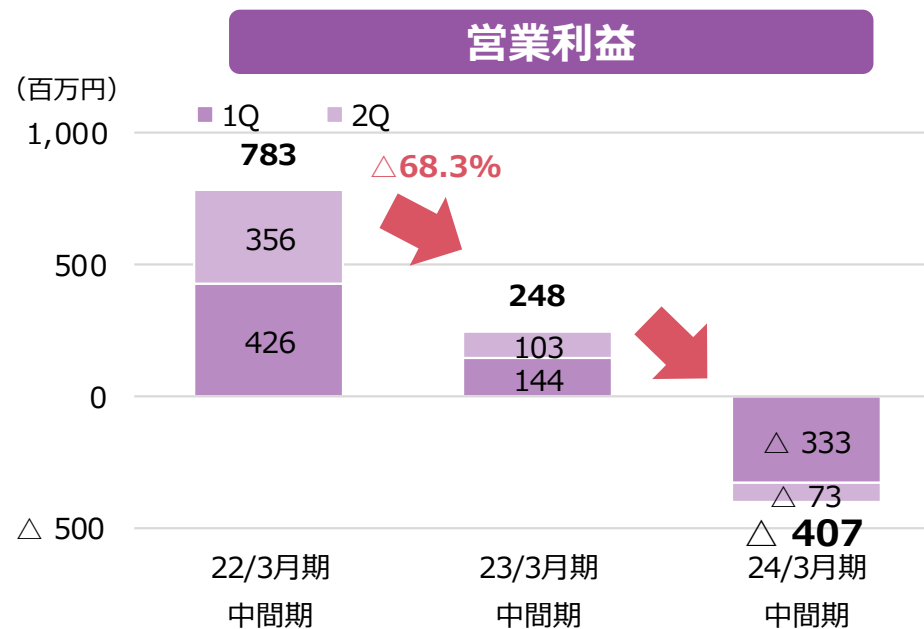
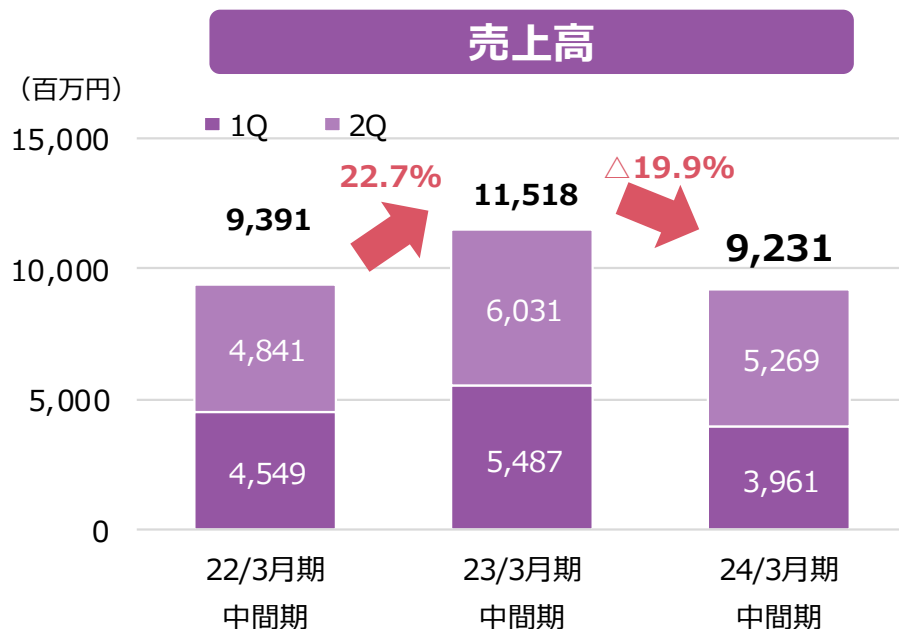
合成潤滑油



連結 セグメント業績 機能材料



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



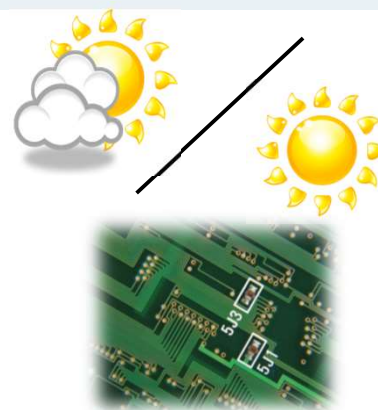
売上高：総じて大きく落ち込む

- 電子材料用途：堅調に推移
- ゴム・プラスチック用途：難燃剤は国内・海外共に大きく落ち込む

営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み
- 原材料価格の高騰による影響

電子材料用途



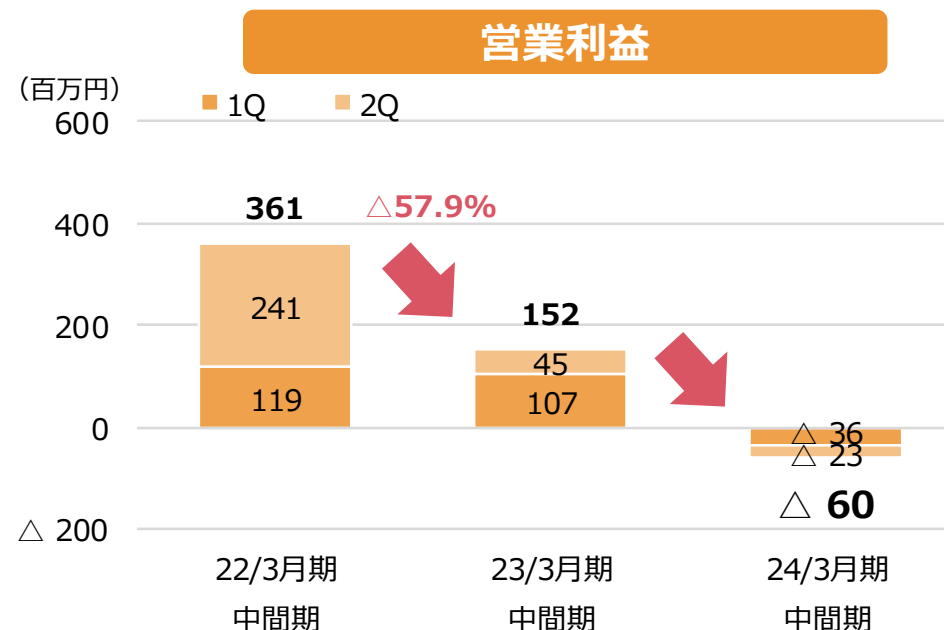
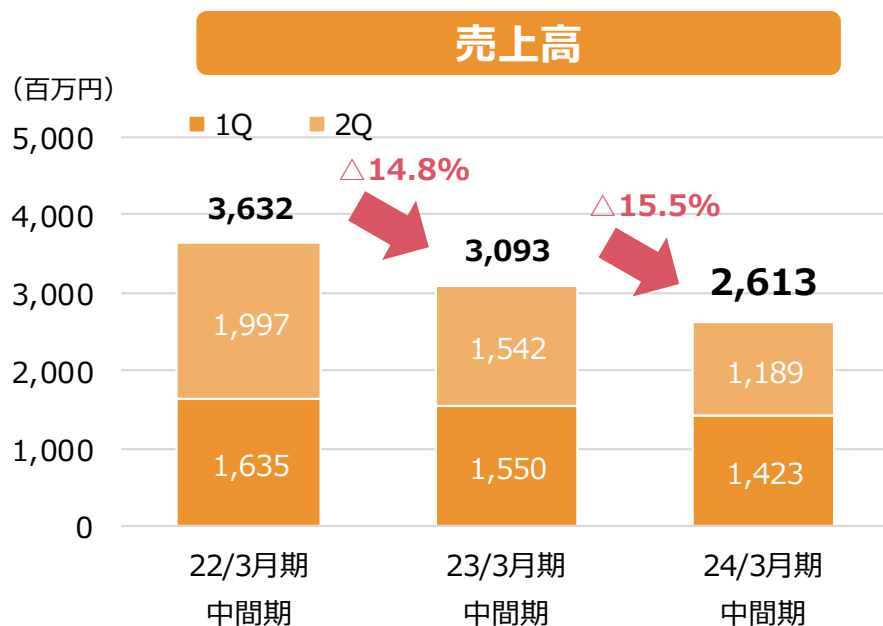
プラスチック用難燃剤



連結 セグメント業績 電子デバイス材料



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



売上高：総じて大きく落ち込む

- 太陽電池用途：導電性ペーストは大きく落ち込む
- ディスプレイ用途：イオン液体は堅調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み

太陽電池用途



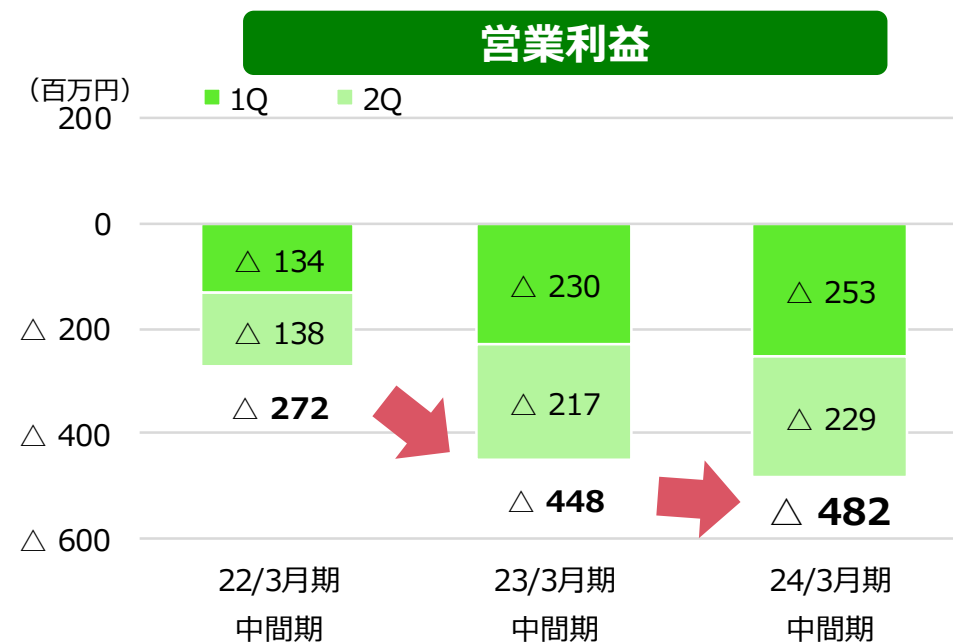
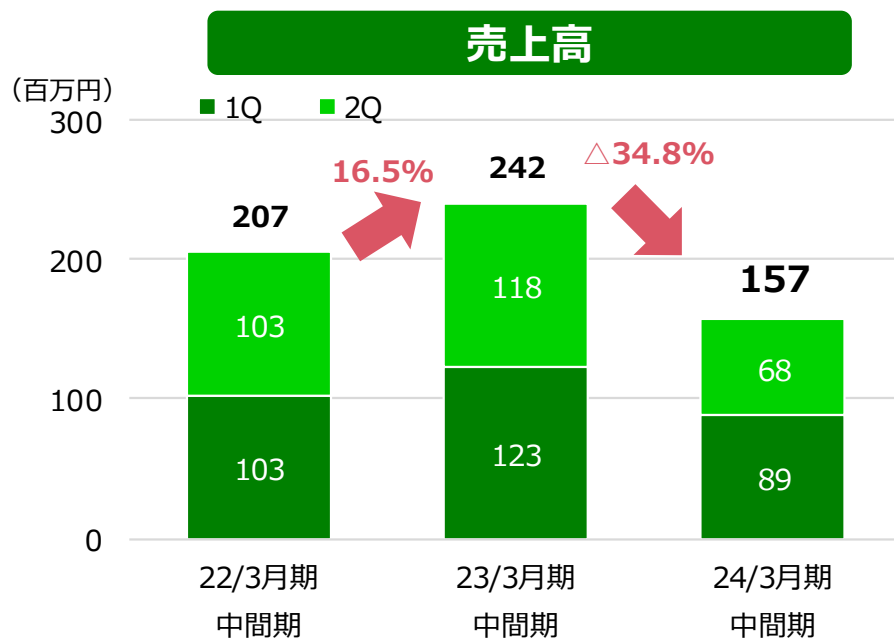
ディスプレイ用途



連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



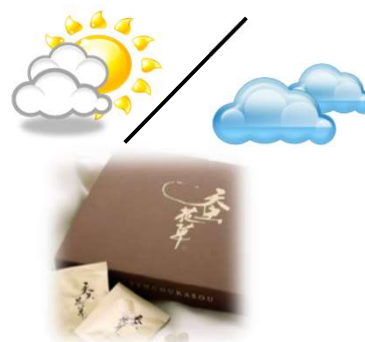
売上高：前期と比べ84百万円減少

- カイコ冬虫夏草：堅調に推移
- 健康食品等の受託事業：低調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高の落ち込み
- 研究開発費が先行

冬虫夏草



健康食品等の受託事業



(単位：百万円)

	2023年 3月末	2023年 9月末	増減額		2023年 3月末	2023年 9月末	増減額
流動資産	45,411	50,426	5,015	流動負債	20,639	22,009	1,369
現預金	9,128	15,259	6,130	仕入債務	10,351	9,554	△ 796
売上債権	17,323	17,816	493	有利子負債	6,990	8,157	1,167
棚卸資産	16,637	15,011	△ 1,626	その他	3,297	4,296	998
その他	2,322	2,339	17	固定負債	26,089	30,464	4,375
固定資産	39,614	40,761	1,147	有利子負債	25,479	29,849	4,370
有形固定資産	32,743	33,183	440	その他	609	614	4
無形固定資産	341	328	△ 12	負債合計	46,729	52,473	5,744
投資・その他の資産	6,529	7,248	719	純資産	38,296	38,715	418
合 計	85,025	91,188	6,162	負債・純資産合計	85,025	91,188	6,162

連結 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



(単位：百万円)

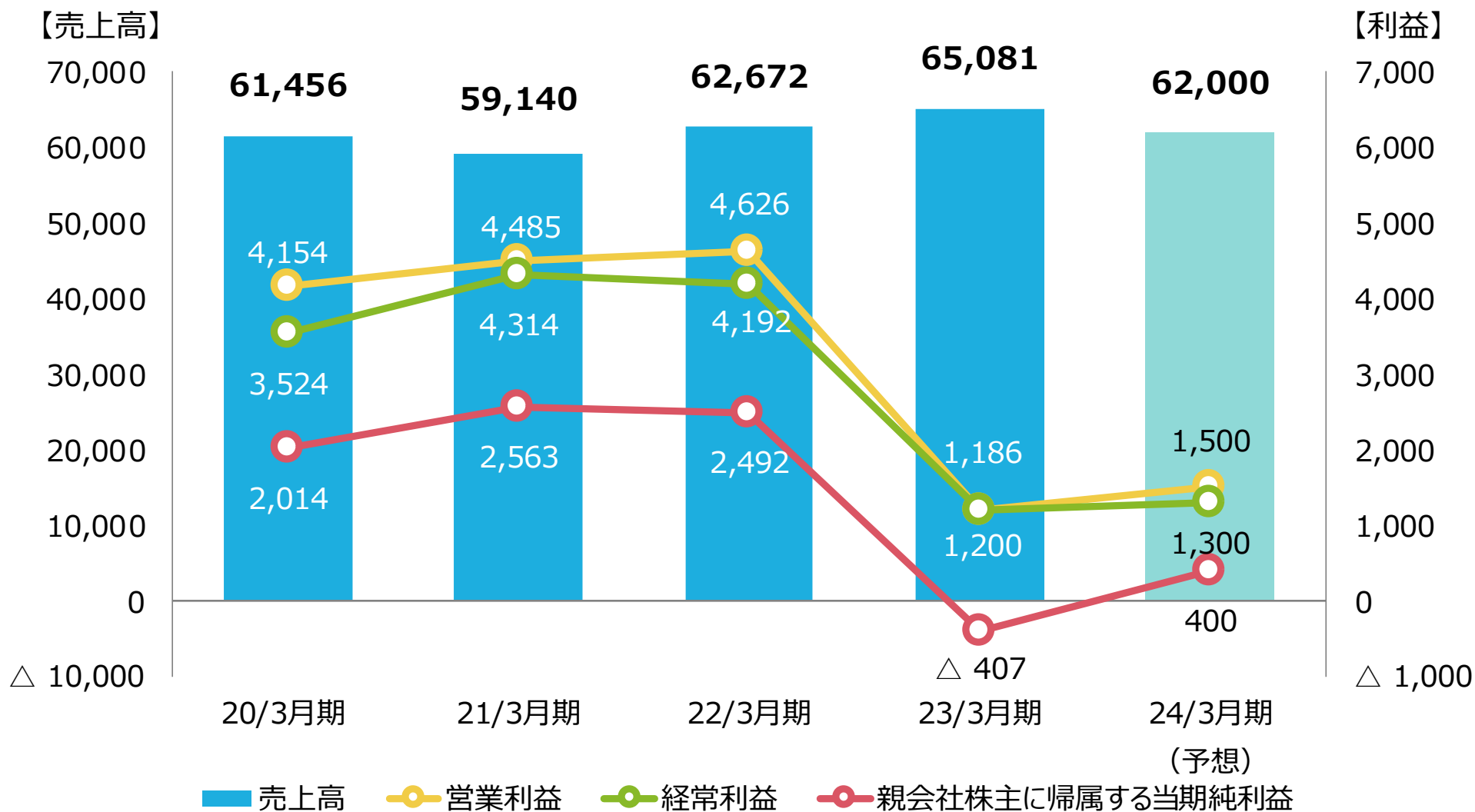
	23/3月期 中間期	24/3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	595	2,138	1,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,320	△ 1,009	311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,455	4,826	9,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	191	171	△ 20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 4,989	6,127	11,117
現金及び現金同等物の期末残高	7,161	15,179	8,017






2. 2024年3月期 業績見通し

連結 連結業績推移および予想



(単位：百万円)



分野	状況	2024年 3月期
自動車・二輪	<ul style="list-style-type: none"> ・販売台数は増加傾向 ・サプライチェーン上の成型品の在庫過多は解消されつつある 	
情報通信 (5G)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイエンドサーバ用の需要が伸長 	
インフラ (リニア新幹線)	<ul style="list-style-type: none"> ・大型プロジェクトは、当社計画より遅延 	
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・需要は回復傾向にある ・需給バランスは注視しつつも堅調な需要を見込む 	
家電・住宅建材 (難燃剤)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外ともに低調が続いている ・難燃剤は、サプライチェーン上の在庫過多は解消されつつあり、底打ちから回復傾向にある 	

具体的な対策

- ①原材料・エネルギーコストの価格転嫁
- ②販売数量の増加
- ③工場稼働率アップによる工費単価の低減

連結 セグメント別売上高予想



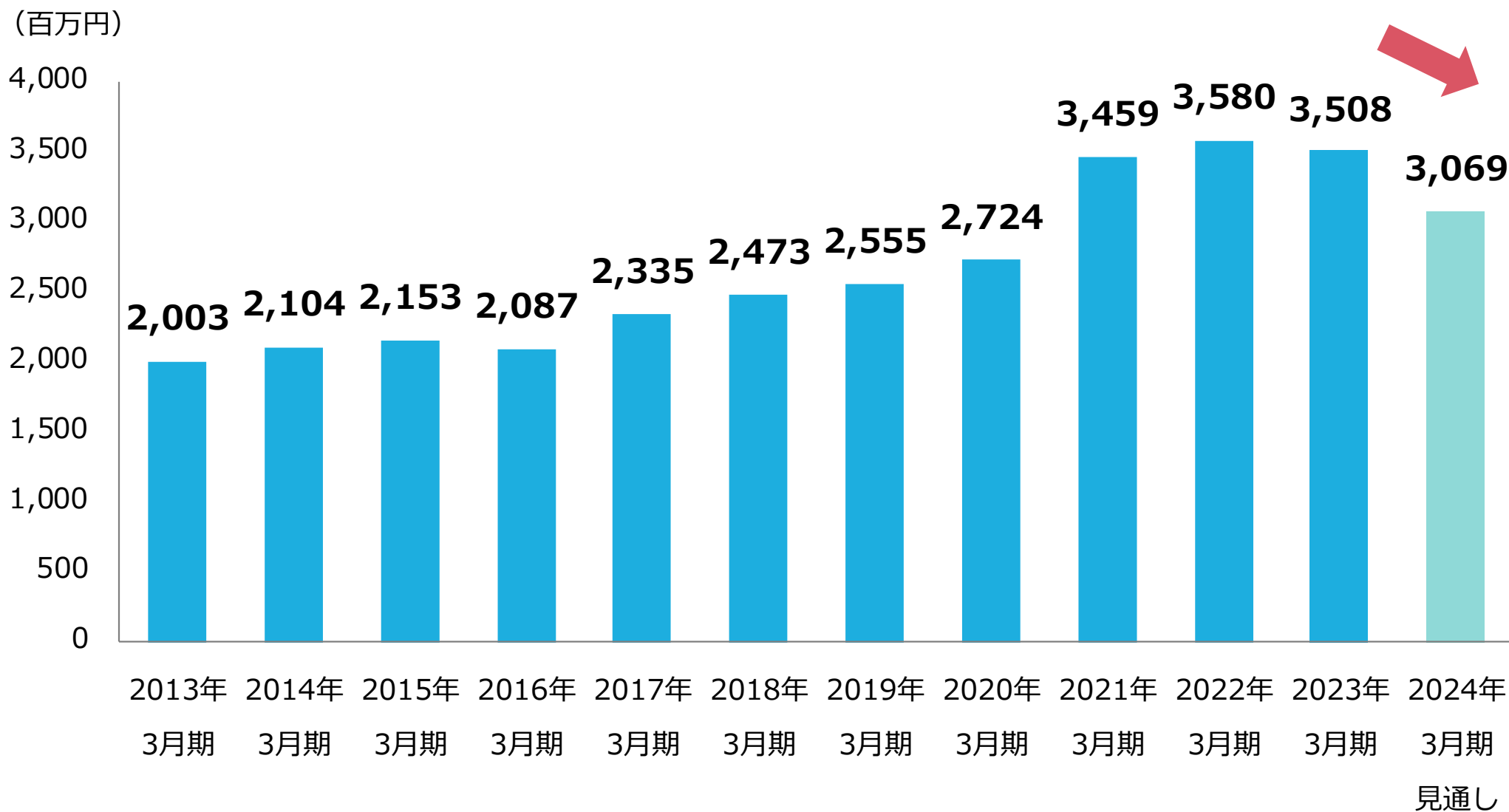
セグメント	2023年3月期（実績）				2024年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期（実績）	下半期（予想）	通期（予想）	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	9,534	9,442	18,976	30	8,809	10,490	19,300	31	324	2
アメニティ材料	4,158	3,921	8,079	12	3,993	4,006	8,000	13	△ 79	△ 1
ウレタン材料	4,218	4,543	8,761	13	4,395	4,604	9,000	15	239	3
機能材料	11,518	11,056	22,574	35	9,231	10,768	20,000	31	△ 2,574	△ 11
電子デバイス材料	3,093	3,098	6,191	10	2,613	2,686	5,300	9	△ 891	△ 14
ライフサイエンス	242	255	497	1	157	242	400	1	△ 97	△ 20
合計	32,765	32,316	65,081	100	29,200	32,799	62,000	100	△ 3,081	△ 5

連結 セグメント別営業利益予想

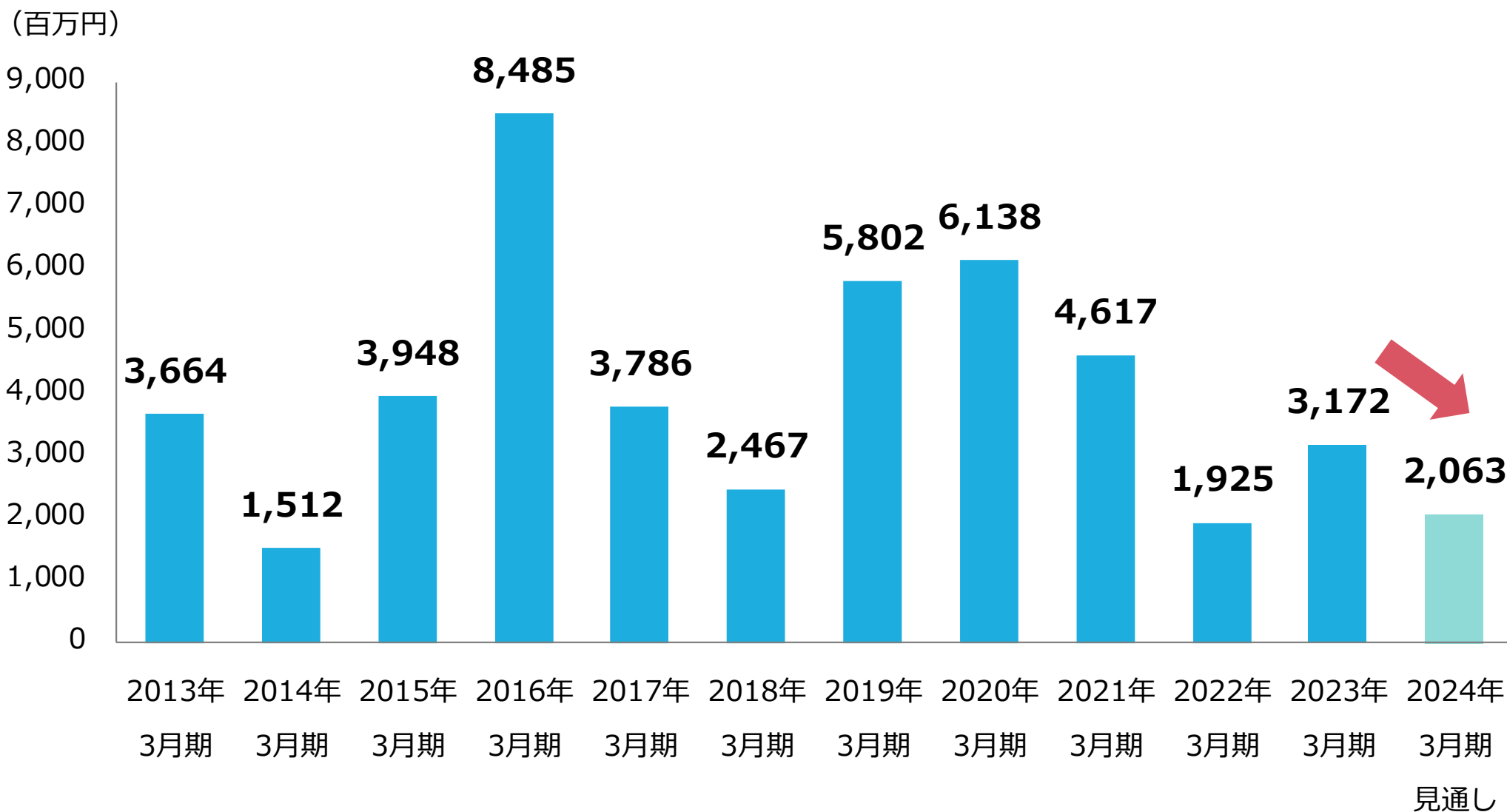


セグメント 単位：百万円	2023年3月期（実績）				2024年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期（実績）	下半期（予想）	通期（予想）	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	904	845	1,749	147	621	1,028	1,650	110	△ 99	△ 6
アメニティ材料	58	△ 59	△ 1	△ 0	75	324	400	27	401	-
ウレタン材料	△ 198	△ 49	△ 247	△ 21	△ 196	46	△ 150	△ 10	97	△ 39
機能材料	248	33	281	24	△ 407	807	400	27	119	42
電子デバイス材料	152	△ 13	139	12	△ 60	60	0	0	△ 139	△ 100
ライフサイエンス	△ 448	△ 286	△ 734	△ 62	△ 482	△ 317	△ 800	△ 53	△ 66	-
合計	717	469	1,186	100	△ 449	1,949	1,500	100	314	26

連結 減価償却費の推移



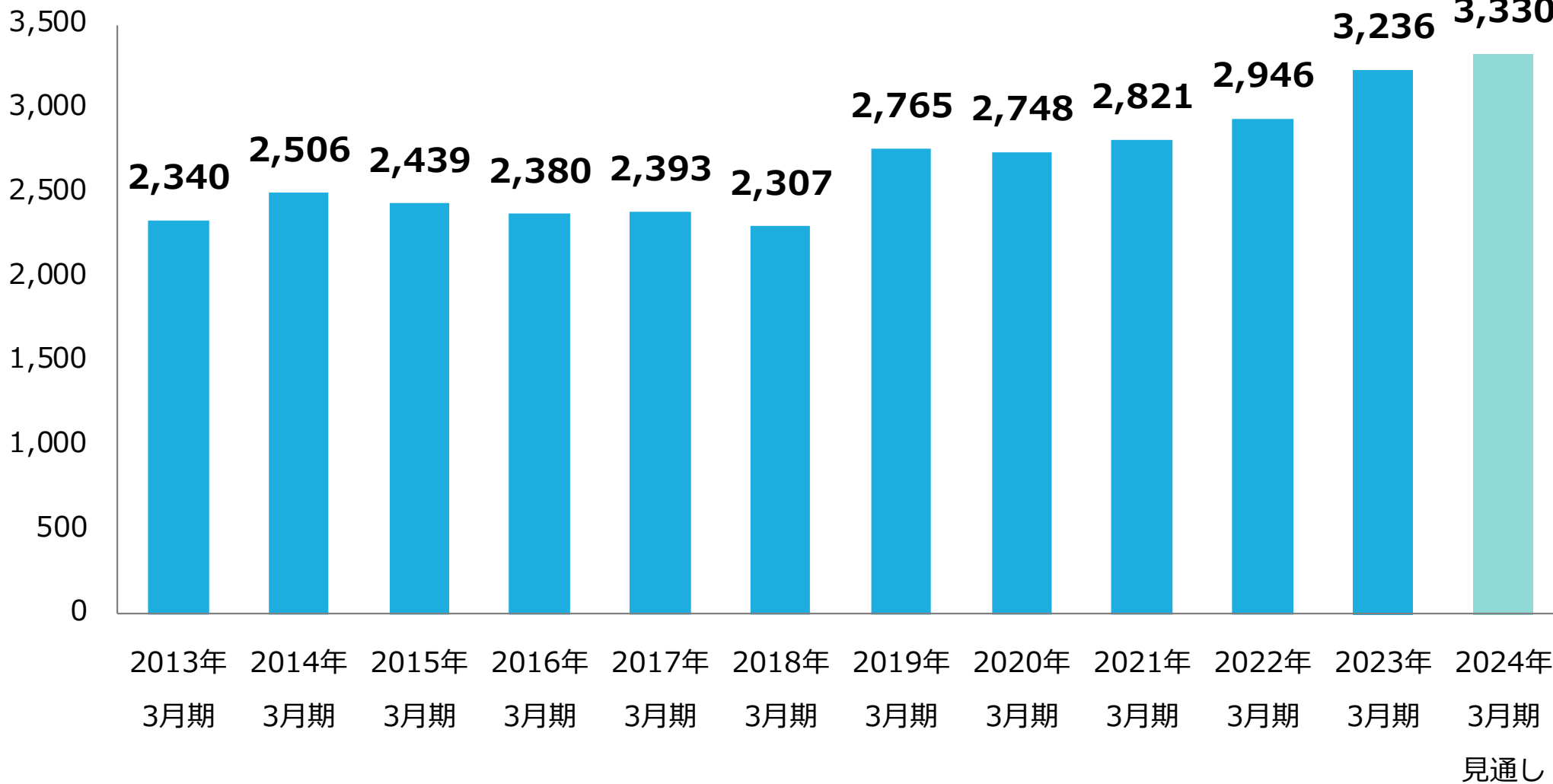
連結 設備投資額の推移



連結 研究開発費の推移



(百万円)



業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR部 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp